研究ノート

社会生活能力目安表改訂への試み

柴田長生

1 はじめに

子どもの社会生活能力を評価することは知的障害児の判定のために必須であり(AAIDD, 2012)、発達障害や様々な不適応を示す子どもの評価や養育指導などにも有効な方法である(柴田, 2016)。しかし、そのための評価尺度は少なく、筆者は主に療育手帳判定に活用するために評価尺度(社会生活能力目安表、以下目安表と略す)を開発し、信頼性・妥当性について検討してきた(柴田, 2006; 2013 以下先の論文と略す)。本目安表は、現在京都府その他の児童相談所において、療育手帳判定のために活用されている(柴田, 2014)。

目安表における各評価項目は、各評価年齢区分において子どもの80%程度が当該能力を獲得し、評価項目の配列は子どもの成長において順次獲得していく内容を示すために、配列順序に留意して決定した。しかし、先の論文で示したように、各課題の能力獲得年齢や配列順序に関して、6歳までの年齢区間で若干の検討課題が認められた。

目安表は、身辺自立・移動・作業・意志交換・ 集団参加・自己統御の6つの評価領域において、 評価区画年齢児のおおよそ80%が到達するような、子どもが成長するためにその時期に是非 とも獲得してほしいと思われる、知的能力の評価とは異なる代表的な能力について「一項目」 を選定して作成される「到達目標目録」であり、 あくまでも「目安」として保護者にもわかりやすく簡便に活用できることを重視してきた。以上の目安表の作成趣旨を遵守しながら、問題点が認められた項目を中心に6歳までの各評価項目を再検討し、改訂尺度を試作した。また、改訂尺度を用いて保育園児への小規模な調査を実施したので、検討経過と調査結果について報告する。

2 検討方法

(1) 評価項目の検討

1で述べた目安表の評価尺度作成趣旨を前提としながら、先の論文で指摘した問題点に沿って、年齢区画6歳までの各課題について検討し、改訂尺度作成に向けた新たな評価課題を収集し、各領域評価における課題の適切性・配当年齢区画の妥当性・課題配列の順序性・評価内容の具体性(わかりやすさ)、最優先課題の決定などについて、目安表全体にわたって検討した。

改訂項目の選定は、現職保育士が作成していた年齢別保育・成長記録(乳幼児の成長に伴って獲得される、年齢別・発達領域別の能力・活動リスト)や、津守ら(1961;1965)の行動目録などを参照して行い、選定結果について筆者の所属大学の教員から助言を得た。

今回は7歳以降の学童期の各課題について は、先の論文で大きな矛盾が認められなかった 事から、検討を行っていない。

(2) 改訂目安表試案を用いた調査

2016年8月に、3ヶ所の保育園の0歳児クラスから6歳児クラス各々10名~15名程度の子どもについて、作成した改訂目安表試案を用いた担任保育士による評価を実施した(おおよそ男女が同数となるように併せて依頼した)。調査は各年齢を担任する保育士合計24名(保育園に一括依頼したため、年齢・性別等は不詳)に依頼し、勤務保育園において各自回答していただいた。

評価対象児童は調査依頼した保育園による任意の選定をお願いしたが、発達面に課題を有すると思われる子どもについては除外するよう依頼した。個人情報は性別と生活月齢のみを聴取するにとどめ、個々の子どもが識別できないように配慮した。また、調査結果については調査園にフィードバックした。

結果の入力は、カード型データベースソフト The Card 8を用いて行い、データを Excel 2010に出力させた上で、統計処理についてはエクセル統計 2012を用いた。

3 検討結果

(1) 目安表の改訂

2 で述べた評価項目の検討を踏まえて作成した改訂目安表試案が表1である。「新規採用課題」「課題記述の変更」「年齢区分配置の変更」「評価領域の変更」という改訂内容については、表中に★1~★4で表示している。

(2) 調査の結果

今般の保育園調査で、106名の子どもの評価 を得ることができた。回答を得た子どもの除外 するよう依頼した。個人情報は性別と生活月齢 の年齢・性別区分をまとめたのが表2である。

評価結果を集計し、生活年齢を3か月毎に区

分して、それぞれの年齢区分における各課題毎の通過率を算出した。年齢区分の設定は、例えば1歳11か月から2歳1か月までの子どもを、中間値を用いて「2歳0か月(以下2:0と略す)」というように分類している。表3には身辺自立領域における、課題別年齢区分別の通過率一覧を、表4には移動領域、表5には作業領域、表6には意志交換領域、表7には集団参加領域、表8には自己統御領域の課題別年齢区分別の通過率一覧を示している。

旧目安表の採点方法に従って、6歳までの通 過課題には1点、7歳以上の通過課題には2点 を付与して、各領域毎及び全体の素点を算出し た。

年齢区分毎に素点の平均値を示したのが表9である。表9における素点総合値の年齢区画による分布をプロットし、スムージングを施した曲線を書き加えたのが図1である。

表 1 社会生活能力目安表(改訂案)

				1女女(奴印木)		
	年齢(す 性別(男	歳 ヵ月) ・ 女)	記入法:できる(恐	らくできるだろう)と	思われる項目に、大き	な○をつけてください
年齢 区分	身辺自立	移 動	作業	意志交換	集団参加	自己統御
0:6	与えられると、ス プーンから飲む	ハイハイや寝返りな どで目的の方向に移 動しようとする	持たせたガラガラや 鈴などのおもちゃを 繰り返し振って遊ぶ	人に向かって声を出 す	人から働きかけられ ると自分からも嬉し そうに反応する	人の声で気分が静まる
1:0	コップ(ほ乳瓶)を 両手で持って飲む	近くの目標に向かって歩こうとする	小さな物を指でつま む	バイバイされると反 応する (何らかの身 振りでの応答をす る)	拍手などの身振りを まねる	禁止された時に動き を止める
1:6	着衣させる時に協力 的な動作をする (パ ンツをはかせる時に 脚をひろげるなど)	外出したときに、大 人と手をつないで いっしょに歩く	なぐり描きをした り、直線などをまね て描こうとする	単語がいくつか言える	体操をまねて、リズムに合わせ、手・足・ 体を動かす	簡単な指示に従う (ポイしてきてな ど)
2:0	スプーンやフォーク ですくったり突き刺 したりしてひとりで 食べる	大人と一緒に、ひと りで長い距離を、10 分ほど休まずに歩き 続ける ★2	開けた扉やふたなど を元通りに閉めよう とする	絵本などを見て、も のの名前が言える	同じ年齢の子どもが 集まっているところ に関心を示し、近づ こうとする	何でも自分でやりた がる
2:6	靴をひとりではく ★3	ひとりで階段を、ス ムーズに上がり下り する (一段毎に両足 揃えでの昇降でよ い) ★2	コップからコップ へ、水を移し替える ことができる	おしっこが出たこと を自分から知らせる ★4	誘われると仲間に入る	その場の雰囲気を感じ取り、おとな応じたり、場に応われるようにあわさるとしたができなど、 がある。・手を合わせるなど、 大の場にある。・手を合わせるなど、 ★1
3:0	顔を自分で洗え、タ オルで拭く ★1	歩道などからはみ出 さずに、ひとりで歩 く	はさみでちょき ちょきと紙を切る (形にならなくても よい)	名前を尋ねられると 氏名を答え、数種類 の二語文を話せる ★2	クラス集団の中で、 皆と一緒に歌が歌え る	単に「イヤだ」と反 抗するのではなく、 自分なりのつもりや 自己主張をともなう ★1
3:6	服や帽子の前後がわ かる ★1	ゴールまで走ること ができる	顔など、形のあるものを描きはじめる (丸の中に目や口ら しきものが描かれている程度でよい) ★2	自分が使いたい物を 友達が使っている時 に「かして」という	ままごとなどの ごっこ遊びで役を演じる	促されれば、簡単な 「きまり」を守るこ とができる
4:0	ボタンのある服の脱 着をひとりでする ★3	階段を2~3段飛び 降りることができる	箸をなんとか使いこ なして食べることが できる(箸でつまも うとする) ★2	「それは、どうして なの?」「それから どうなるの?」と いった質問ができる	運動会などで、リズムに合わせて、皆と 一緒にお遊戯や踊り などができる	欲しいものがあって も、説得されれば我 慢できる
4:6	食卓で、ほとんど大 人の世話なしで食べ ることができる	根っこなどの障害物 があっても、転ばず に歩いたり走ったり できる	はさみで、簡単な形 を切り抜くことがで きる	自分が経験したことを大人や友達に自分から伝え、会話を楽しむ ★3	じゃんけんで勝ち負 けがわかる ★3	禁止されていること を他の子がやった 時、その子を注意す る
5:0	大便の始末をひとり でし、紙でお尻を拭 くことができる	車や自転車に気をつけ、ひとりで道を歩 くことができる	紙飛行機をよく飛ぶ ように、飛ばせ方や 折り方などを、自分 なりに工夫する ★2	電話で、簡単な会話 を続けることができ る ★3	ゲームなどで、年少 の子どもを気遣った り、手助けすること などができる ★1	大勢の人の中や乗り 物の中でダダをこね たりしない
5:6	お風呂で、自分で体 を洗い、タオルで自 分の体を拭く ★3		お菓子やおはじきなどを、5つづつ数えて袋詰めにすることができる ★3	経験した場面を絵で 描き、尋ねれば描い た内容を説明するこ とができる ★3	ドッジボールや鬼 ごっこなどの集団遊 びに、ルールを理解 して参加することが できる ★3	夜、自分の部屋でひ とりで寝ることがで きる
6:0	気温にあわせて、自 分で服を脱ぎ着する ことができる ★1	近くの店であれば、 簡単なお使いに行く ことができる	教えれば、ちょう ちょ結び・丸結びな どがなんとかできる ★1	何かを決める時、「~ だから~しよう」と、 理由をつけて提案で きる ★1	遊びや集団活動の中で、ゆずりあうことができる ★1	1時間ぐらいなら、 独りで留守番できる
7:0	ひとりで時間割をだ いたいあわすことが できる	ひ と り で 学 校 へ 行って、帰ってくる ことができる	定規を使って、直線 や図形を描くことが できる	日常の出来事を短い 文章で書くことがで きる(日記や作文)	トランプ、カルタ、 すごろくなどの簡単 なゲームで、ルール を守り、友達と仲良 く遊ぶことができる	教室で、30分ぐら いはいすに座って静 かに勉強できる
8:0	簡単な家事のお手伝 い	友達の家などを自転 車や	適量ののりを使っ て、同じ	簡単な手紙を書くこ とが	友達と遊ぶ楽しさが 分か	大人の指示に従い、 公共

改訂内容:★1新規採用課題 ★2課題記述変更 ★3年齢区分配置変更 ★4評価領域変更

表2 調査対象児

年齢区分	男	女	合計
0:0 - 0:11	3	4	7
1:0 - 1:11	12	14	26
2:0 - 2:11	10	8	18
3:0 - 3:11	9	7	16
4:0 - 4:11	7	7	14
5:0 - 5:11	7	7	14
6:0 -	5	6	11
合計	53	53	106

表3 身辺自立領域における、課題別・年齢区分別通過率一覧

			-	K 0 3	15 D T I	点がたる	111.91	不迟371	一四四八	1 11.1100000	十見			
年齢	N	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺	身辺
区画	- 1	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0	5:6	6:0	7:0
0:6	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0:9	3	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:0	5	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:3	13	100.0%	92.3%	61.5%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

表4	移動領域における、	課題別・年齢区分別通過率一覧
24.7	12 30 PK-3010 40 17 60 1	M 位为 一部产力为地位于 先

年齢	N	移動	移動	移動	移動									
区画	11	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0	5:6	6:0	7:0
0:6	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0:9	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:0	5	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:3	13	100.0%	100.0%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	66.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	40.0%	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	50.0%	66.7%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	42.9%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%
5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%
6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%
6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	62.5%	37.5%	0.0%

表5 作業領域における、課題別・年齢区分別通過率一覧

年齢	N	作業	作業	作業										
区画		0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0	5:6	6:0	7:0
0:6	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0:9	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:0	5	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:3	13	100.0%	92.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	28.6%	0.0%
5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%
6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%
6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%

表 6	意志交換領域における、	課題別 .	· 在齡区分別涌渦率	- 警

$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$															
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		N							,0						
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		2													0.0%
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	0:9	3	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1:0	5	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c} 1:9 & 6 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 50.0\% & 50.0\% & 50.0\% & 33.3\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 2:0 & 5 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 80.0\% & 100.0\% & 60.0\% & 20.0\% & 20.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 2:3 & 6 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 66.7\% & 50.0\% & 50.0\% & 33.3\% & 16.7\% & 16.7\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 2:6 & 3 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 33.3\% & 33.3\% & 16.7\% & 16.7\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 2:9 & 5 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 20.0\% & 40.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 3:0 & 4 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 50.0\% & 50.0\% & 25.0\% & 25.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 3:3 & 3 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 50.0\% & 50.0\% & 25.0\% & 25.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 3:3 & 6 & 2 & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 4:0 & 1 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 4:3 & 6 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 4:3 & 6 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 4:4 & 4 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 5:0 & 3 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 0.0\% & 0.0\% \\ 5:0 & 3 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 28.6\% & 0.0\% \\ 5:0 & 3 & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 100.0\% & 33.3\% & 0.0\% \\ 6:0 & 3 & 100.0\% & 100$	1:3	13	100.0%	100.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c} 2:0 \\ 5 \\ 100.0\% \\ 100.$	1:6	3	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5:9 3 100.0% 66.7% 100.0% 66.7% 0.0%	5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
6:0 3 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 66.7% 100.0% 66.7% 0.0%	5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	28.6%	0.0%
	5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%
16 : 3 8 100 09/ 100	6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	0.0%
0 · 3 8 100.0 % 100.0	6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	62.5%	0.0%

表7 集団参加領域における、課題別・年齢区分別通過率一覧

年齢	N	集団	集団											
区画	11	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0	5:6	6:0	7:0
0:6	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0:9	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:0	5	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:3	13	100.0%	92.3%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	66.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%	0.0%
5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%
6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	12.5%

年齢区画	N	統御 0:6	統御 1:0	統御 1:6	統御 2:0	統御 2:6	統御 3:0	統御 3:6	統御 4:0	統御 4:6	統御 5:0	統御 5:6	統御 6:0	統御 7:0
0:6	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0:9	3	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:0	5	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:3	13	100.0%	92.3%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1:9	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:0	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
2:6	3	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2:9	5	100.0%	100.0%	100.0%	40.0%	80.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:0	4	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:6	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3:9	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:0	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:3	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
4:6	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4:9	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5:3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
5:6	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%	28.6%	14.3%	0.0%
5:9	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
6:0	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%
6:3	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	25.0%	12.5%

表8 自己統御領域における、課題別・年齢区分別通過率一覧

表9 各年齢区分別素点の平均値一覧

年齢 区画	N	素点身辺	素点移動	素点作業	素点意志	素点集団	素点統御	素点総合
0:6	2	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	5.0
0:9	3	1.3	0.5	0.8	1.5	0.8	1.0	5.8
1:0	5	1.5	1.0	1.2	1.3	1.5	1.5	8.0
1:3	13	2.7	2.4	1.9	2.2	2.4	2.5	14.2
1:6	3	4.0	5.0	4.7	3.3	4.7	4.7	26.3
1:9	6	4.3	5.3	4.7	5.3	6.0	6.0	31.7
2:0	5	5.2	6.6	5.2	6.8	7.0	6.8	37.6
2:3	6	6.3	6.5	5.0	6.3	7.3	7.5	39.0
2:6	3	5.3	5.0	5.0	5.7	5.3	5.3	31.7
2:9	5	5.8	5.4	4.6	5.6	6.0	5.4	32.8
3:0	4	6.5	6.3	5.0	6.5	6.3	6.5	37.0
3:3	3	7.7	6.3	6.0	6.7	6.7	6.3	39.7
3:6	2	8.0	8.5	7.5	8.0	8.0	8.5	48.5
3:9	7	9.0	8.1	8.0	8.6	7.9	8.6	50.1
4:0	1	9.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	52.0
4:3	6	9.2	8.8	8.2	8.8	9.0	9.0	53.0
4:6	4	9.3	9.3	8.5	9.3	8.8	9.0	54.0
4:9	1	10.0	9.0	10.0	9.0	8.0	9.0	55.0
5:0	3	10.0	9.7	9.3	9.7	9.7	9.0	57.3
5:3	3	11.0	10.0	10.3	10.3	9.3	10.0	61.0
5:6	7	12.0	11.0	11.1	11.1	11.7	10.1	67.1
5:9	3	12.0	11.3	11.7	11.3	12.0	11.0	69.3
6:0	3	12.0	10.7	11.7	11.3	11.7	10.7	68.0
6:3	8	12.0	11.0	11.5	11.6	12.1	10.8	69.0

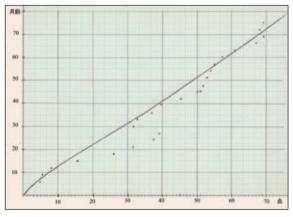


図1 年齢区画による素点分布

4 検討結果への考察

(1) 目安表の改訂について

2で述べた項目改訂作業を行ったことにより、旧目安表に比べて各評価領域の意味がより明確になり、子どもの生活や育ちの実像に沿った到達課題を、順序立てて配列できたと思われる。

(2) 調査結果から

表9や図1に見られるように、年齢区画毎に 予想よりもかなり高評価になった区画と、比較 的低評価になった区画が認められる。これは評 価を行った各クラスの担当の基準によるところ が大きかったと考えられる。表2に見られるよ うなサンプル数では、このような傾向が生じる のは避けられない面もあるが、それでも1:6か ら2:3の年齢区画での高評価傾向が傑出してお り、上位の年齢区画である2:6から3:0あたり の年齢区画の素点よりも高い素点値となってい る。

この区画はいわゆる「1歳児クラス | 在園児 の結果であるが、個別評価データを見ると、こ の年齢区画でのかなりの数が、評価結果に疑義 のあるものであった。例えば生活年齢 1:10 の 子どもに対して、4:6 レベルの課題の半数に「で きる」と評価されるような評価結果であった (この点に関する考察は後述)。今般の調査で は、目安表の記述以上に評価基準を明確に提示 していなかったためなのか、評価担当保育士に よる評価結果の高低はかなり認められた。これ は、評価担当者間での差ではあろうが、「1歳 児クラス」に所属する子どもは、乳児から幼児 へと大きく生活世界を急速に拡大する時期であ るので、高位の課題に示されているような内容 が、曖昧ではあるがそれらしいことを行い始め る時期ともいうことができる。社会生活能力に 対する評価なので、このような評価が知能検査などの評価に比べて生じやすいのであろう。評価基準をどのように明示できるかが今後の課題となる。しかし、より低位の課題の通過の状況が、課題の順次性を検討する上では大切になるので、表3から表8では、「1歳児クラス」の評価結果を含めた通過率を示している。

表3から表8を全体的に見てみると、年齢の推移に従って、通過率は概ね均質に上昇しており、課題の通過状況がほぼ年齢推移に従ってほぼ均質な上昇を示していることが分かる。このことから、改訂試案における課題の選択と配列順序はほぼ成功していると言えるが、細部については後に考察する。

月齢と各領域毎の素点の相関を示したのが表 10 である。相関係数は $0.91 \sim 0.97$ と非常に強い相関関係を示しており、課題選択が適切であったことを示している。

表 10 月齢と各領域素点との相関係数

素点	身辺	移動	作業	意志	集団	統御	総合
月齢	0.96	0.94	0.97	0.95	0.95	0.91	0.97

図1では、表9に示した各年齢区分での平均素点をプロットしている。そして、上記の「疑義年齢区間」はかなり無視した上でスムージング操作を行い、標準となる各年齢における素点獲得曲線を描いている。4歳前後における比較的高スコアを勘案すると、3:6以降はもう少し寝た曲線にした方が良かったかも知れない。

図1に示した素点獲得曲線に基づいて、社会生活年齢換算表を暫定的に作成した(表11)。表11を用いて各評価結果に対する社会生活年齢(以下SAと略す)を換算し、以下の算出式によって、社会生活指数(以下SQと略す)を算出した。

算出式: SQ = SA ÷ CA (生活年齢) × 100

素点	S A														
0	0	10	13	20	22	30	31	40	41	50	51	60	62	70	72
1	2	11	14	21	23	31	32	41	42	51	52	61	63	71	73
2	3	12	15	22	24	32	33	42	43	52	53	62	64	72	75
3	5	13	15	23	25	33	34	43	44	53	54	63	65	73	76
4	6	14	16	24	26	34	35	44	45	54	55	64	66	74	77
5	7	15	17	25	27	35	36	45	46	55	56	65	67	75	78
6	8	16	18	26	28	36	37	46	47	56	57	66	68	76	79
7	10	17	19	27	29	37	38	47	48	57	58	67	69		
8	11	18	20	28	30	38	39	48	49	58	59	68	70		
9	12	19	21	29	30	39	40	49	50	59	60	69	71		

表 11 社会生活年齢換算表

注) SA は社会生活月齢を示している

旧目安表の換算表の結果と比較すると、旧版では素点72点でのSAが64M、素点76点でのSAが73Mであり、表11の結果とは若干異なるが、素点79点でSAが80Mであるので、評価水準はそれほど大きく変わらない。目安表の改訂を実施しても、旧版での評価内容とほとんど変わらない評価を行うことができると推察される。

算出した SQ のうち、先に述べた「1 歳児クラス」における評価に疑義のあるデータをのぞいたもの(N=90)の SQ 分布の様子を示したのが図 2 である(平均値:106.6 標準偏差:12.2)。 歪度によるダゴスティーノ検定によって正規性の検定を実施すると、危険率 1%未満となり、正規分布を示していた(歪度:0.69 尖度:3.80)。 データ数が少ないので述べきることはできないが、評価尺度として妥当であることが十分想定できる。

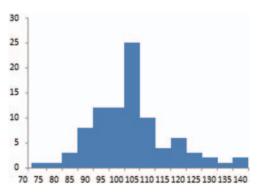


図2 SQ の分布図

(3) 課題内容、課題配列順序に関する詳細検討

表3~表8を詳細に検討し、課題内容・課題 配列順序に関して、以下の6点の検討課題が認 められた。

身辺自立 4:0 ~身辺自立 4:6 身辺自立 4:0 に設定した「ボタンの脱着」課題は、現代の子どもにとっては意外に難しいようであり、身辺 4:6 に設定した「食卓動作の自立」よりも少し困難な結果となった。同様の傾向は作業 6:0 に設定した「ちょうちょ結び」課題でも見られた。目安表としては、身辺自立 4:0 と身辺自立 4:6 を入れ替えることで解決できよう。巧緻動作に関するこれらの課題は獲得すべき生活能力として大切であり、何れかの年齢評価項目には設定する必要があろう。

移動 3:6 ここで設定した「ゴールまでの完走」 課題は、運動会などでの短い距離での幼児徒走 において、走行先に設定されているゴールテー プに向かって自分の意志で走り続けることを尋 ねた課題であるが、1~2歳児が保育士や保護 者が迎える「ゴール」に向かってごく短い距離 を何とか走ろうとする場合でも「できる」と評 価されやすかった。ここでの課題意図に従って、 改訂版の作成においては、「運動会のかけっこ で、おおよそ15メートル先のゴールテープに 向かって、一人で走ることができる」のような 記述内容の変更を行うことができよう。

移動 4:0 ~移動 4:6 で設定した「障

害物への意識とその回避」課題は、単に木の根で転ばないというだけで低年齢児にも「できる」と評価されやすかった。ここでは課題配列は変更しないで、例えば「根っこなどの障害物があっても、先を見通して障害物を予見し、転ばずに歩いたり走ったりできる」のような記述内容の変更を行うことができよう。

作業 3:6 移動 3:6 の場合と同様に、ここで設

定した「形あるものの描画の開始」課題は、例 えば円錯画や縦・横線を描き始める2歳児が偶 発的に円と円内に点等を描き、保育士が尋ねる と後付け的に「お顔」と答えるような場合にで も「通過」と評価されかねない。ここでの課題 意図は「意図して具体物を描き始める」ことな ので、例えば「人のようなものを意図して描く ことができはじめる(おおよそ顔が描かれ、手 足もあるが、足が頭から出ていてもよい) | の ような記述内容の変更を行うことができよう。 集団参加 4:0 移動 3:6 の場合と同様に、ここ で設定した「マスゲームへの参加」課題は、動 作模倣が可能となることにより、単にまわりに 同調して同じ格好をとる低年齢児にも「できる」 と評価されやすかった。ここでは課題配列は変 更しないで、例えば「運動会などで、リズムに

自己統御 2:0 2:6 レベルでの「周囲との同調」 課題に「できる」と評価されても、2:0 レベル の「何でも自分でやりたがる」という課題につ いては評価されない場合が数件見られた。おそ らくは保育の場では自己主張しないシャイな (引っ込み思案な)子どもではないかと思われ たが、2:0 時点での自我の芽生えを評価するた めにも、この課題は現状通りに設定したい。

合わせて、単にまねするのではなく、皆と一緒

にお遊戯や踊りなどをおおむね行いきることが

できる」のような記述内容の変更を行うことが

できよう。

上に示した目安表への改訂プランは、設定

趣旨などを変更するものではないので、最終的な目安表改訂案に採用することができると考える。以上の改訂を行うことで、旧目安表の懸案であった何点かの課題内容、課題配列順序に関する課題をクリアすることができたと考える。

5 おわりに

かねてより懸案であった目安表改訂作業の端緒を開くことができた。当面準備したい社会生活能力目安表の改訂案については、本研究結果によって確定することができる。改訂目安表の標準化作業については容易ではないが、いずれかの日に着手したいと願っている。本調査は、その際の予備調査として位置づけられるべきものである。

今回の調査を通して、関係者や保護者が評価に臨んで戸惑わないために、具体的でわかりやすい、簡潔でポイントを射た「評価の手引き」の作成が必要であると思われた。また、7歳以降の課題についても、「到達目標」としての各課題の検討を、目安表作成趣旨を遵守し、現場の知恵を得ながら行い続ける必要があろう。

社会生活能力目安表は、知的障害児の判定のためだけでなく、各般の子ども理解・子育て支援における簡便で有効なツールとなることを切望している(柴田,2016)。ご協力いただいた調査園から、園児に対する保育の5領域への評価に加えて、社会生活能力目安表の各評価課題を園児の評価内容に追加してみたいというご意向を伺った。まことに嬉しいお申し出であり、今後の活用結果に大きな関心と期待がある。

謝辞

稿を閉じるに当たり、調査協力いただいた 宇治福祉園の園児及び職員の皆さんと、目安表 改訂試案の作成検討にご助言いただいた、京都 文教大学教育福祉心理学科の同僚である松井愛 奈・島田香・堀内詩子・後藤紀子の各氏に深謝 いたします。

引用・参考文献

- ・American Association on Intellectual and Developmental DiSAbilities. (2012). 知的障害 定義、分類および支援体系(太田俊己・金子健・原仁・湯汲英史・沼田千好子共訳). 日本知的障害福祉連盟. (American Association on Intellectual and Developmental DiSAbilities. (2010). Intellectual DiSAbilities: definition, classification, and systems of supports. 11th ed.).
- ・柴田長生. (2006). 子どもの社会生活能力評価に ついて ~標準化された評価尺度の試作と、知 的障害児への評価から見えてきたこと~. 発達 106 号 (pp.74-88). ミネルヴァ書房.
- ・柴田長生. (2013). 子どもの社会生活能力評価に 関する検討 ~「社会生活能力目安表」の信頼性・ 妥当性に関する追加検討~. 京都文教大学臨床 心理学部研究報告第5号 (pp.3-23). 京都文教大 学.
- ・柴田長生. (2014). 知的障害児における社会生活能力の評価について1 ~社会生活能力目安表による評価の意義と妥当性について~. 京都文教大学臨床心理学部研究報告第6号 (pp.13-37). 京都文教大学.
- ・柴田長生. (2016). 保護者とともに子どもを見守り、 育むために — 「からだ」と「社会生活能力」に 着目して. 発達 147 号 (pp.40-45). ミネルヴァ 書房
- ・津守真・稲毛教子. (1961). 乳幼児精神発達診断法 ○オ~三才まで. 大日本図書.
- ・津守真・磯部景子. (1965). 乳幼児精神発達診断法 三才~七才まで. 大日本図書.

Abstract

A Reviewing for the Revision of the Scale about Social Abilities in Childhood

Chosei SHIBATA

I published an assessment scale about social abilities of children (application age: 1:0-10:11) in 2006. And I reported about standardization, assessment method, reliability and validity of this scale in 2013, 2014. Now this scale is used for evaluation of intellectual and developmental disabilities on seven Child Guidance Centers.

In my previous paper (2013), I reviewed about the advisableness of the arrangement of each assessment item and pointed out the contradiction of some item arrangement. Then I reviewed some contrarieties and made a revision rating-scale experimentally.

The revision points are as follows.

- 1 The newly created evaluation item: 9 items
- 2 The evaluation item which changed a description: 6 items
- 3 The change of the standard development age of the evaluation item: 8 items
- 4 The change of the area arrangement of the evaluation item: 1 item

I evaluated the social abilities of 106 children (0:6 - 6:3) using the new rating-scale. And the evaluation result was no-problem approximately. The coefficient of correlation between the evaluation result and the age every each area were 0.91 - 0.97 and showed a very high correlation.

Because it got this result, it was possible to make me complete the tentative plan of the new scale about social abilities of children.

Key words: social abilities of children, evaluation of social abilities, easy assessment method, the revision of the rating-scale